

明治150年記念 平成30年度全日本少年少女武道（柔道）錬成大会要項

- 趣 旨 全国の小学生を対象に基本錬成を主眼とし、柔道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。
- 主 催 公益財団法人日本武道館・公益財団法人全日本柔道連盟
- 後 援 スポーツ庁・日本武道協議会・公益財団法人東京都柔道連盟
- 主 管 東京都柔道道場連盟・東京都高等学校体育連盟柔道専門部
- 期 日 平成30年 7 月 29 日（日）午前 8 時 40 分入場行進開始・9 時開会・午後 5 時閉会（予定）
- 場 所 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3
- 参加人員 (1) 基本錬成 800 名
(2) 試合錬成 450チーム

8. 参加資格

- 参加資格
 - 参加資格
 - 参加する選手は健康上支障ないと認められた小学生であること。団体の監督は（公財）全日本柔道連盟指導者資格 B 指導員以上の者であること。

※ 2 チーム出場する場合は、1 名の A または B 指導員資格所持者が必ず帯同し、2 チーム目以降は C または準指導員の帯同でも可とする。
 - 参加する団体は団体登録していること。また、試合錬成に参加する選手は、その団体を通して競技者登録していること（申込書に必ず全柔連メンバー ID を記入のこと）。
 - 本大会に出場するために臨時に編成された団体は認めない。
 - 基本錬成
 - 学年・男女は問わないが、基本的な技術（受身など）を習得している者に限る。
 - 参加者は左胸の下に主催者が用意したステッカー（縦 8.5cm×横10cm）を横に貼ること（当日受付にて渡す）。
 - 試合錬成
 - 試合は低学年（3、4 年生）の部と高学年（5、6 年生）の部に分けて行い、チーム数は 1 団体につき低学年 1 チーム、高学年 1 チームまでとする（申込書に必ず全柔連チーム ID 及び監督・選手の全柔連メンバー ID を記入のこと）。
 - 選手は必ず決められた学年内（学年適齢）で編成し、体重の軽い選手から配列する（選手 5 名、監督 1 名）。2 年生以下の参加は一切認めない。
 - チーム編成において、選手が 5 名に満たない場合は、後詰めに配列する(大会中に欠員が出た場合も同様とする)。
 - 男女の別は問わないが、試合に習熟している者に限る。
 - 一旦提出された選手のオーダーは、基本的に変更を認めない。提出された選手の中で、負傷者が出た場合のみ開会式前まで補充を認める〔(イ)(ウ)を適用する〕。
 - 同一選手による基本・試合錬成の重複参加は認めない。
 - 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは、感染が判明した選手については、すみやかに医療機関で治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
 - 脳震盪（のうしんとう）の対応について、選手および監督は下記事項を遵守すること。
 - 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること）。
 - 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - 当該選手の指導者は大会事務局および（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

9. 参加方法

- 申込方法

別紙申込用紙に所定事項を記入の上、インターネットまたは郵送のどちらかで申し込むこと（併用厳禁）。

≪インターネットの場合≫

詳細は、別紙インターネット参加申込受付案内を参照のこと。

≪郵送の場合≫

申込先 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館振興課 柔道係 宛

定形最大（長 3）の封筒で郵送のこと。

- 参加費

基本錬成……1 人 700円 試合錬成……1 チーム 7,000円

同封の銀行振込依頼書で申込締切期日までに送金すること。なお、一旦納入された参加費は一切返金しない。参加者 1 名につきプログラム 1 冊、参加章 1 個を贈る。
- 振込先 三菱 UFJ 銀行 神田支店 普通 3 8 1 7 4 5 9 ^{コウエキザイダンホウジンニッポン ブドウカントクベツカイケイジュウドウチ} 公益財団法人日本武道館特別会計 柔道口
- 申込締切 平成30年 5月28日（月）
- 申込取消及び登録監督・選手の変更

申込後の参加取消、登録監督・選手を変更する場合は、プログラム掲載締切の都合上、6 月22日（金）までに別紙変更届にて、前記住所日本武道館柔道監督・選手変更係宛に送付すること。
- 参加服装

選手及び監督は柔道衣（白）着用、上履きも持参のこと（怪我及び感染症防止のため）。

※柔道衣（白）を着用していない者は大道場には入れない。

男性は柔道衣の下にアンダーウェアを着用することは認めない。
- ゼッケン

参加者は背中に、原則として縦20～25cm×横30～35cm程度の大きさの、男子は白地に黒文字で、女子は白地に朱文字で、それぞれ所属の団体名と個人名を記入したゼッケンをつけること。ゼッケンのない選手は参加を認めない。
- 団体表示旗（入場式用）

参加団体を表示する旗を持参すること（旗の規格はおよそ縦150cm×横50cm程度とする）。

※先端のヤリは、取り外すか、丸い物に変えるなど危険防止に努めること。

10. 集合場所及び受付時間

開催日当日、参加団体は会場正面玄関向かって左側のテントにおいて、午前 7 時15分から 8 時20分までに受付を終了すること。

11. 錬成内容

- 基本錬成 礼法（立礼・座礼）、模範演武、準備運動、受身、指導稽古。
- 試合錬成
 - 試合は各試合場ごとにトーナメント方式で行い、勝ち残ったチームがブロック決勝戦を行う。
 - 2018 年 1 月より国際柔道連盟が施行している国際柔道連盟試合審判規定・国内における少年大会特別規定及び本大会申し合わせ事項による。

12. 表 彰

- 全体を16試合場、8 ブロックに分け、ブロックごとに優秀賞（1 チーム）、優良賞（1 チーム）、敢闘賞（2 チーム）の団体に賞状・賞品を、個人に賞状を贈る。
- 優秀賞のチームに日本武道館より優秀旗（持ち回り）を授与する。
- 前年度優秀賞のチームに日本武道館よりレプリカを授与する。
- 優秀賞、優良賞入賞者は表彰式に参加のこと。敢闘賞の表彰は確定次第行う。

13. 安全対策

安全管理には万全を期すが、大会中万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。病院等で診療を受けた場合は、主催者が保険の範囲内で初診料を負担する。健康保険証（コピー可）を持参のこと。なお、日本武道館では武道大会傷害保険に加入している。

14. 注意事項

出場選手の学年詐称については団体失格とし、以後出場停止処分とする。

15. そ の 他

- 宿泊などの斡旋業務を下記旅行業者に委託している。詳細は別紙参照のこと。株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス トラベルサービスセンター東日本「全日本少年少女武道錬成大会」係 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-14-24 西新宿 KF ビル 3 階 TEL 0570-064-205 FAX 03-6730-3230
- 大会参加団体には 7 月上旬に大会参加実施要項を送付する。

〔問い合わせ先〕（公財）日本武道館振興課 TEL 03-3216-5134 FAX 03-3216-5117
全柔連登録については、（公財）全日本柔道連盟 TEL 03-3818-4199
（土・日・祝日を除く、午前10時～正午・午後 1 時～午後 5 時）

以上